

Technical Farm 通信

3号(2014年12月25日)

ATOMOS社 4K収録機能付き 液晶モニター



ついにSHOGENが出荷開始になったようです。
このモニター4K収録できて、なんと7インチFullHD(1920x1080)表示。
もちろんHD収録もOK(AppleHQ/422/DNxHDの選択も可)

値段とスペック的にDSLRやEOSC100などと組み合わせれば、
カメラ変えずに画質向上と作業効率もグーンあがりますね。
TF的にはSONY α7Sカメラを持っているので、これ買えばコンパクトな
4Kカメラになっちゃう。欲しいですね。
SDIやHDMIの信号の中にRECトリガー信号を入れることができ、
カメラのRECボタン押せば同時に収録始まるわけで便利便利。
★必ずカメラ本体のメディアの同時収録は欠かさずに、
外付けてのはリスクが必ずあるので、、、必ず

Convergentdesign社 4K収録機能付き 液晶モニター



ODYSSEY 7Qも新商品が発表にされました。「ODYSSEY 7Q+」
HDMI 1本で4K入力可能になりました。

さてこのODEYSSEY 7Q+の最大の特徴はARRI RAWや
CanonEOSC500の4KRAWなどの圧縮の少ない高ビットレートの
データが収録できるんです。
もちろんHDも収録可能でなんとHD4入力を同時に、収録する事も
出来るんです。ほかに特徴いっぱいあります。RECトリガーもOK

そしてSSDは専用の物を使用するところがProっぽいです。
その分、金額はなかなかですけど収録の安心感ってプライスレスですから

★もちろんこれも絶対はないので、必ずカメラの同時収録は欠かさずに

今月の三脚情報

今日はSACHTLER三脚のお話し
最近、密かに人気な三脚ヘッドはDV10SBやDV12SBなんですよ。
三脚(脚部)は100mmボール用でVIDEO18で使っていたものを使用して、
ヘッドは75mmボールタイプに似た軽量タイプのヘッド。
EOSC300のカメラなどの撮影で持ち運びながらも脚はがっちりしたいって事で
どうでしょう？



DV10SB



DV12SB

今月の気になるカメラ

撮影したあとからフォーカス調整!? 「LYTRO ILLUM」 ※スチルカメラで動画用でないけど 凄い!!!



アメリカのLytro社製のこのカメラは
すごい技術の斬新なカメラ

センサーで光線が入ってくる方向、角度を認識して記録し、
それをソフトウェア処理をすることで、
後から画面内の任意の場所にピントが合わせられるという技術。

※僕にはハイテクすぎて理解できません。

Web見るとソフトウェアでフォーカス変えてる映像なんてもう
MOVIEのフォーカス送りみたい、、、今後この技術が進化すると
映像製作は大きく変わりますね。
ドラえもんもそろそろかもしれませんね。フッフ

すでに日本のホームページもできてる。20万円で既に発売!!!
<https://www.lytro.jp/>

今月のWikipedia (毎月、うっちーがWikipediaで調べた事をちらっと教えちゃいます。)

雲台(ウンダイ)

雲台(うんだい)とは、

中国や朝鮮、日本などにおいて、高台。

物を乗せる台。特に仏像を乗せる台や美術工芸品を乗せる台のこと。前者の多くは蓮の花を模しており、後者の多くは天板に短い脚が四本付いた構造。

カメラや双眼鏡など、光学機器と三脚などの架台本体のあいだに入れ、それらの光学機器を自由な方向にむけて固定するためのもの。大まかに分けて、スチル用雲台(3way)、シネ用雲台(2way)、自由雲台がある。(英語: pan head, 自由雲台はball head)

天体望遠鏡の場合、2way雲台と同様の動作をする架台を経緯台、極軸と同じ方向(つまり、地球の自転と同じ方向)に回転する架台を赤道儀と呼ぶ。中国北京市昌平区にある元代の遺跡。→居庸関#雲台

実は、小型の電動雲台の御相談を受けまして、どんなのがあるのかって調べてました。

Canaria社は何種類も電動雲台あり、気になりますね。

三脚ヘッドももっと電気のカも使ったハイブリット商品でるといいですね。

これから色々調べてみます。



今月の宣伝

2015年2月発売のB4toPL/PL のデモ&見積り依頼待ってます。

現在、テスト機が2台あります。

お問い合わせは「片岡」または営業「内田」まで



今月のレンズつぶやき



Metabones社製

「SONY FZマウント用電子接点付キヤノンEFレンズ用変換アダプター」

この商品は12月下旬発売予定であったが現在遅れていると事。

希望小売価格は税抜138,500円。

この商品SONY F55でEFレンズに電子接点で電源供給ができ

ギアリング回すとアイリスが動作する。

オートアイリスまで動くとまじか!!!すごい。

来年の発売楽しみですね。ほんとに動くのかな、、、

本紙の内容はテクニカルファーム TFBlogにてPDFで見ることができます。

発行元

株式会社テクニカルファーム

営業部 担当 内田 拓伸

〒151-0066

東京都渋谷区西原1-28-4興和ビル2階

TEL03-5942-5500 FAX03-3378-1331

Email

info@technicalfarm.com

http://technicalfarm.com